

溶連菌感染症とは？



【感染経路】

「飛沫感染」・・・くしゃみやせきによって、細菌を含んだしぶきが飛び散り、それを吸い込みこむことで感染します。感染原因のほとんどは飛沫感染です。

「接触感染」・・・感染した人の皮膚が、他の人の傷口に接触して感染します。

「経口感染」・・・食品を介して経口感染する場合があります。

※ 感染力は急性期に最も強く、その後徐々に弱くなっていきます。

【症状】・・・「発疹」「せき」「倦怠感」

溶連菌感染症とは、主に A 群溶血性レンサ球菌（溶連菌）という細菌によって起こる感染症です。溶連菌は、健康な人の鼻やのどなどによくいる菌ですが、呼吸器や皮膚から感染するとさまざまな疾患をひき起こします。「冬」、「春から夏にかけて」と、年間で2回流行のピークがあります。

【予防と対策】

「基本は手洗い」・・・伝染性膿痂疹（とびひ）普段からしっかり手を洗う習慣をつけておくことが大切です。流水と石けんで十分に手を洗い、タオルの共用はひかえましょう。また、アルコール手指消毒薬も効果があります。

「せきエチケット」・・・せきやくしゃみが出るときは、マスクをつけましょう。マスクをしていないときに出そうになったら、ティッシュや腕で、口と鼻をおおってください。もしも手のひらで口や鼻をおおってしまったら、すぐに手洗いを。

「皮膚の清潔とスキンケア」・・・手洗いや入浴により皮膚を清潔にスキンケアを心がけましょう。また、虫刺されなどでかき傷を作らないようにし、鼻をいじった手で傷をさわらないように注意しましょう。